

コロナ対応で夕食の居室配膳をしていた時です。利用者の皆さんも行動制限でストレスを抱えておられ殺伐とした空気感の中、〇〇さんの居室に入り弁当を床頭台に置こうとした時、〇〇さんは窓側を向いていて気付かなかったのですが、正面に回るとパーティー用のめがねをかけておられました。他のスタッフから「床頭台を近くに置いていると中身を色々出してしまい大変なんです」とは聞いてはいましたが、まさかのパーティー×ガネ姿に言い表しようのない脱力感です。なんと声かけていいのかわろいろ頭の中を巡らせた結果自分の口から出た言葉は「なんでやねん」でした。異様な緊張感から一瞬開放されて心に余裕を持ってその後の介助に臨むことができました。